令和4年度 特色ある道徳教育推進校

県立八千代東高等学校

研究主題

自己の在り方生き方について主体的に探求し、豊かな自己形成のできる 生徒を育成する

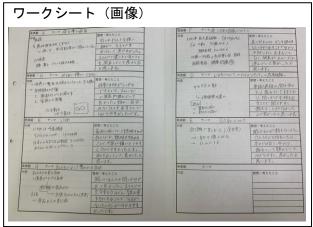
取組1 「道徳」を学ぶ時間の指導の工夫

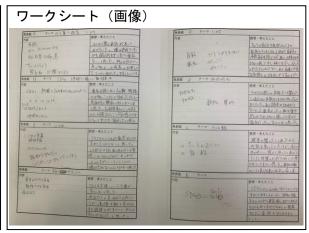
工夫1 話合いの工夫



- 話し合いの進め方
- 〇それぞれの考えを出し合う。
- 〇似ている考え、違う 考えを整理 する。
- 〇発表する人を決める。
- 〇自分の考えを書く…時間の確保
- ○ペアやグループでの意見交流 …「話し合いの進め方」の共有

工夫2 書くことによって考えを深める





〇生徒一人一人が自分の考えを書く時間をしっかりと確保し、書くことによって自分の考え を深められるよう促した。

取組2 学校教育全体を通した道徳教育の充実

道徳教育全体計画(一部抜粋)

〈学校の教育目標〉

- 1 人類愛に燃え、社会に貢献できる人間を育てる。
- 2 学問と正義を愛し、継続的に努力できる人を育てる。
- 3 心身ともに健やかで、個性豊かな人を育てる。

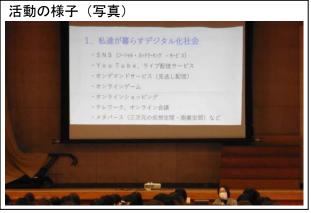
〈道徳教育重点目標〉 「さわやか やちひが」

- 1 自己の在り方生き方について主体的に探求し、豊かな自己形成のできる生徒を育成する。
- 2 自他の生命を尊重し、他者の心を推し量ることのできる生徒を育成する。
- 3 規範意識を高め、自律的行動をとることのできる生徒を育成する。
- 4 明るくさわやかな挨拶を励行し、地域を愛する生徒を育成する。

学校教育目標である「人類愛に燃え、社会に貢献できる人間を育てる。」を達成するため、 総合的な探究の時間や特別活動の時間を有効に活用して道徳教育を推進している。

SNS トラブル防止(講演会)





SNS上で起きているトラブルとその対処方法について学んだ。

主な成果と課題

- ○道徳教育を通して、日常生活や授業の中で、自分の考えをまとめる力や、仲間の意見を尊重 すること、思いやりが必要であること、いのちは大事にしなくてはいけないということを、自 ら考えて行動することができる生徒が多くなったと感じる。
- ●学校全体の取組の課題としては、道徳教育の知識不足、ICT 環境整備の不足があると考える。

授業実践事例

学習指導案

千葉県立八千代東高等学校 1年 C組 「道徳」を学ぶ時間指導案

令和 4年 6月 2日(木)

1 主題名

社会の一員として責任を果たす人間になる

2 ねらいと教材

電車やバスなどで見知らぬ"他人"と限られた空間を共有するとき、様々な問題が起こってくる。2つの逸話をとおして、公共の場において人はどのように行動すべきかを考える態度を養う。

教材名 9「電車やバスで」

(出典 沖縄大学 宮城能彦「たなあげ通信7」、西尾真澄「そして運転手だけが残った」)

3 主題設定の理由

- (1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方 普段の生活において身に付けて欲しい資質や考え方である。
- (2) 生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い 高校での初めての道徳の授業になる。自分たちの生活に照らし合わせて取り組んで 欲しい。
- (3) 使用する教材の特質やそれを生かす具体的な活用方法 生徒の日常でも起こりうるトラブルを題材にしている。授業者が生徒の心に訴える ように音読をおこない、理解を深めさせる。

4 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	指導上の留意点
導入	・発問「自分が最近、見た	・集団で会話をしてい	・公共の場においての
(5分)	(受けた) 電車やバスの中	てうるさかった。	行動について考えさせ
	での気になる行為はあり	・荷物を座席に置いて	る。
	ますか。」	いるせいで座れな	→何名か指名して答えさ
	→プリント (1) の記入	い人がいた。	せる。適宜板書をする。
展開	・4人(5人)の班を9つ作	乍成し、プリントを配右	方する。
(40分)	・授業者が「電車の中でのご	こと」の音読を行う。	(場面の想像)
	・発問「文章の後半で『私	・母親の気持ちもおじ	・登場人物の様子を見つめ
	』が迷っている原因は何	さんの気持ちも尊重	る「私」の思いに焦点を
	ですか。」	できるから。	当てさせる。
	→プリント (2) の記入		→何班か指名して確認す
	→班内で意見を伝え合う。		る。
	・授業者が「そして運転手/	だけが残った」の音読を	と行う。(場面の想像)

・発問「一緒にバスを降り」・勇気があって素晴ら」・感情のみではなく、多面 ようと、1番最初に立ち しいと思った。 的かつ冷静に状況を判 上がった人(行動)につ・優しい行動だなと思 断させる。 いてどう思いますか。」 →何班か指名して確認す った。 →プリント(3)の記入 る。 →班内で意見を伝え合う。 ・困った立場にいる人の心 情に思いを寄せること の大切さに気付かせる。 発問(「電車の中でのこ」・ただ見ているだけだ と」について)「もしあ と思う。 なたが『私』と同じ状況 ・大変そうだなと思う に立ち会ったとき、あな けど何もしないと たならどうしますか。」 思う。 →プリント(4)の記入 →班内で意見を伝え合う。 ・指示「グループ内でプリント(4)について話し合った内容を、代表者が 発表してください。」 ・指示「代表者の意見を聞いてどう思ったかをワークシートに書き込みまし よう。し →プリント(5)の記入→机間指導をする。 ・生徒の意見を活用しながら、公共の場での振る舞い方や、他者への思いや 終末 り、配慮する心の大切さについて言及し、私たちが支え合って集団(クラ (5分) ス)を形成していくことについて語りかけ、自覚させる。 ・プリントを各班で集めて、授業者へ提出させる。

5 他の教育活動との関連

特になし

6 授業の様子

(1) ワークシート

R4年 6月2日 (木) 実権」 (1) 自分が最近、見た(受けた)電車やバスの中での気になる行為について挙げてみよう。」
(1) 自分が最近、見た(受けた)電車やバスの中での気になる行為について挙げてみよう。」
(2)『電車の中でのこと』の終末部で「私」が迷っている原因は何だと考えられるか。.
(3)『そして運転手だけが残った』について、一緒にバスを降りようと、いちばん最初に立ち上がった人。
(行動)についてどう思うか。」

	(4)もしあなたが『電車の中でのこと』の「私」と同じ状況に立ち会ったとき、あなたならどうするだろ
ı	3 o . i
ı	その理由も併せて書こう。」
	自分なら。
	理由
.1	
.1	
.1	
ш	(5) 他の班の意見を聞いてどう思ったかを書いてみよう。
.1	
.1	
1 1 1	
.1 .1 .1 .1	年 組 番・氏名。

(2) 生徒の様子

自分の考えや意見をよく書けていて、班内での話し合いも活発に行われていた。